

2016 Women's Asian Champions Trophy (SINGAPORE)

大会名	2016 Women's Asian Champions Trophy	日付	2016/11/2
場所	SINGAPORE	天候	曇り
試合	第3戦	通算結果	1勝1敗1分

Country	RESULT	Country																
日本 JAPAN	0	2 マレーシア MALAYSIA																
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>1P</td><td>0</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>2P</td><td>0</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>3P</td><td>0</td><td>-</td><td>2</td></tr> <tr><td>4P</td><td>0</td><td>-</td><td>0</td></tr> </table>			1P	0	-	0	2P	0	-	0	3P	0	-	2	4P	0	-	0
1P	0	-	0															
2P	0	-	0															
3P	0	-	2															
4P	0	-	0															

Start	No.	Name	備考
✓	1	景山 恵	GK
16	2	錦織 えみ	
✓	3	浅井 悠由	
✓	4	藤井 美沙	
✓	5	阪口 真紀	C
✓	6	内藤 夏紀	
✓	7	西村 綾加	
✓	8	真野 由佳梨	
✓	9	永井 葉月	
✓	10	湯田 葉月	
16	11	野村 香奈	
✓	13	三橋 亜記	
5	14	清水 美並	
✓	15	永井 友理	
10	16	大塚 志穂	
5	17	狐塚 美樹	
46	18	要石 理沙子	GK
5	19	平原 文音	
コーチ		長谷部謙二	
UMPIRE		DAGAR Nirmla(IND)	

Start	No.	Name	備考
✓	1	YAHYA Farah	GK
4	2	RASHID Nuraini	
5	3	SAID Nuraslinda	
✓	4	MANSUR Nurul	
✓	5	ALI Noor Hasliza	
✓	6	SHABUDDIN Norsharina	
✓	7	RUHANI Siti	C
✓	8	DIN Juliani	
✓	10	SAAD Siti	
4	11	SUMANTRI Norazlin	
✓	12	ONN Hanis	
5	13	AWANG NOH Surizan	
6	14	AZIZ Zafirah	
	16	AZIA Mas	GK
4	17	OTHMAN Siti	
✓	19	SYLVESTER SILIN Fazilla	
✓	20	MOHD SAIUTI Norfaiezah	
✓	21	SUKRI Fatin	
監督		RAJ Muhammad Dhaarm	
UMPIRE		LIU Xiaoying(CHN)	

Country	Min	Name	Action	Score

Country	Min	Name	Action	Score
MAS	38	RUHANI Siti	PC	0-1
MAS	39	RASHID Nuraini	FG	0-2

1st Period
日本のセンターパスにより試合が開始される。1分、センターパスから攻撃を仕掛けPCを取得する。このチャンスに#3藤井から右外に走り込む#8真野に合わせシュートするがGKにはじかれる。これがリバウンドとなり決定的な場面をむかえるが決めることができない。9分にもPCを取得するが、相手GKに阻まれ先制点をあげることができない。12分、相手コートのFHを素早く#8真野がリスタートしサークル内に走り込む#15永井友にボールが渡る。一度は奪われるが、クリアミスしたボールを#13三橋がカットしシュートするが枠を捉えることができない。

2nd Period
アウトレット・コントロールからボールを奪い、繰り返し攻撃を仕掛ける日本であるが、最終の局面でのミスも目立ち得点をあげることができない。22分、サークルトップのFHより#9永井葉がシュートを放つ。そのこぼれ球が無人のゴール前へこぼれ押し込もうとシュートするがボールは枠をそれる。25分ライト側からセンタリングしたボールを#8真野が受けシュートするがGKに弾かれる。再三のチャンスを決めることができないまま前半戦を終了する。

3rd Period
エンドが変わりマレーシアのセンターパスにより後半戦が開始される。38分、日本はPCを奪われ最初のピンチを迎える。中央よりヒットシュートされたボールがゴールマウザーのスティックに当たりゴールに吸い込まれ先制される。39分、レフト側を崩されノーマークでシュートされ追加点を奪われる。41分にもカウンターからシュートを許す。

4th Period
少しずつレフト側を崩されるようになり、ピンチを迎えるが#5阪口が体をはって凌ぐ。48分、連続でPCを奪われるが#11野村が体をはってシュートを許さない。50分、レフト側よりセンタリングしたボールがGK前で待つ#14清水に入るが決めれない。逆に、52分PCを奪われピンチを招くが得点を許さない。57分、58分にチャンスを作り出すものの決めることができず0-2のまま試合が終了した。決定力不足が目立った試合であった。

CAP数：真野由佳梨(50)
初CAP：要石理沙子(1)

日本	2	PC数	4	
	6	シュート数	4	マレーシア

記載責任者：長谷部謙二
校閲： 山野 秀一